



津山まなびの鉄道館扇形スカイビューイング © Tsuyama city

# Governor's Monthly Communication

ガバナー月信

地区ガバナーメッセージ	2
公共イメージセミナー報告	3
第45回インターアクト地区大会報告	4
諮問委員会次第・ガバナー補佐会次第・地区年間行事予定	4
クラブ報告	6-7
出席報告	8

Rotary International District 2690 2022-23

2022-23年度  
国際ロータリー会長  
ジェニファー・ジョーンズ

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)  
2022-23年度地区ガバナー  
友末 誠夫

Vol.4



地区ガバナー  
友末誠夫 (津山 RC)

## 米山奨学月間によせて

今年も米山月間（10月）がやって来ました。ロータリークラブ会員の皆様方には、米山奨学制度並びに寄付金へのご理解を示して頂き厚く感謝申し上げます。米山奨学金は日本で学ぶアジア諸国からの留学生が対象です。彼等は今年も米山奨学金の恩恵に授かろうと期待を膨らませています。

米山奨学金制度は1953年、日本のロータリークラブの生みの親であると同時に初代会長の米山梅吉氏が自らの資金を投じて、日本と経済格差の大きいアジア諸国の向学心の高い留学生を支えるために奨学金制度を創設、1954年、最初の奨学金がタイからの留学生に交付し米山奨学

金制度が開始、1967年、日本全国のロータリークラブの共同事業として財団法人に改組され今日に至っています。日本の大学で学ぶアジア諸国からの留学生は、次第に米山奨学金の恩恵に授かろうとする傾向になり1970年代には、奨学金交付条件が学業成績及び人物評価が重点要素となり、奨学金獲得は留学生にとって狭き門に移行しました。1980年～1990年に掛けて地方の大学で学ぶ留学生も増え、次第に学業評価を基に大学の所在地域の地区ロータリークラブが奨学金交付の審査を行う仕組みに移行、米山奨学金制度の運営上、留学生が学ぶ大学の担当教授の学業成績評価等を基軸にした推薦状をもって、その大学の所在地域の地区ロータリークラブの米山奨学金委員会で公正かつ厳正な審査選考で奨学金交付対象者を決定する今日のような地区単位毎の審査選考会が中心的権限を担う方式に至っているのです。ロータリークラブから選任された年度単位の米山奨学金委員長と複数の審査員で審査選考会が構成され米山奨学金交付の留学生を決定、それを受諾した米山奨学金財団は奨学金を留学生に交付、併せて世話ロータリークラブと奨学留学生のカウンセラーが決定されると、留学生はカウンセラーの下で米山奨学生としての日常が始まることとなります。奨学留学生の世話ロータリークラブのカウンセラーは、先ず留学生と面談して留学生の素性を把握、次に担当教授から学業成績や授業態度等の評価情報を得ながら、その留学生の在学期間又は卒業に至るまで、米山奨学生としての日常を掌握して地区の米山奨学金委員会で報告説明を行い、委員会はそれを財団運営部に通知するが今日の一連の仕組みです。米山奨学金制度の運営管理部は、全ての奨学生を対象に奨学終了後は、米山学友会に組み入れて米山学友会の仲間意識の連帯性を呼び掛けます。奨学生は日本で習得した知識や技能を活用して母国で活躍、あるいは日本に留まって能力を発揮するなど様々ですが、留学後は彼等の出身国に於いても日本に於いても米山学友会員としての相互親睦が培われる様、留学後の交流が日本と彼等の出身国の友好の架け橋役となるべく、日本とアジアの国々との親交を願っているのが米山奨学金財団の永遠の平和への願いであります。2019年までは、127の国や地域からの奨学留学生の人数が累計21,024人、奨学留学生は多彩で2000年以後は年間800人～900人程度で推移していましたが、中でも中国からの米山奨学留学生の多くが日本の大学の医学課程や工学課程、そして専門学校の各種の専門課程等、多くの分野で学んでいます。他のアジア諸国からの留学生の奨学金獲得が退けられる状況になっていると懸念の声も上がっていると云われます。2000年までの米山奨学生の出身国は、延べ130ヶ国で、その総数は22,000人以上と云われ、奨学金交付の留学生の出身国順位はかつて韓国、台湾、タイ、ベトナム、マレーシア、カンボジア、インドネシア、フィリピンで、これらの国からの日本留学生が全体の80%を占めていましたが、2000年代以降は、中国からの留学生が徐々に増加、2010年以降からは中国勢の奨学金獲得者が全体の過半数を占める状態が続いています。

中国からの留学生の日本語も一様に上手く、学業も圧倒的に優秀なのが起因している様です。米山奨学金制度は、日本全てのロータリークラブの組織的な寄付で成り立っています。ロータリークラブの会員数が日本全体で減少傾向となれば、当然ながら米山奨学財団の原資管理が難しくなります。米山奨学金月間の時期にあたり、特に年数の浅いクラブ会員の皆さんには、米山奨学金制度の組織的運営に全国のロータリークラブは、深く関係していることを知って頂きたいのです。



地区 副代表幹事  
稲葉伸次 (津山 RC)

## 2022-23年度 RI2690地区 公共イメージセミナー

2022年8月21日に2022-23年度 国際ロータリー第2690地区 公共イメージセミナーを開催いたしました。

8月に入り新型コロナウイルスの影響が再燃しつつある中、感染対策を徹底しての開催となりましたが、多くの地区メンバーの参加をいただいて無事開催することができました。

開会にあたり、友末ガバナーの挨拶では、今年のスローガン「ロータリーのすばらしさを体感しよう」の解釈として、117年続いてきたロータリー活動のすばらしさを

掘り起こし、それを礎に次の100年に向けてDEI（多様性、平等性、包括性）をもって各クラブで新しい奉仕活動を起こしそれぞれの地域でのロータリーに対する認識を深めてもらうことで、更に公共イメージの向上に繋がっていくことを力強く述べられました。



その後基調講演に移り、第3地域 RPIC 第2680地区 パストガバナー丸尾研一様による『ロータリーの公共イメージの向上について』と題してのご講演をいただきました。

ご自身の経験とともに、「ロータリーの例会は人材育成の場。例会で鍛えられて人格が向上したロータリアンが地域を変える行動人となる事で、ロータリーの認知度も上がり、また、ロータリアン一人一人が歩くロータリーの広告塔として、誇りと自信をもってぜひ活動してもらいたい。」と語られました。

次にロータリーの友地区代表委員 福原 徹より、今年、創刊70周年を迎える「ロータリーの友」について、歴史を踏まえながら説明をしていただきました。横組みのページには、RIの指定記事やロータリーの特集記事などを載せ、縦組みには地区、クラブの活動やメンバー個人の記事等が載っていることや、今年からロータリーの友が全巻オンラインで読むことができるようになったこと、新しい企画のことなどが報告されました。



最後に、地区ガバナー月信出版・地区HP管理委員会 秋山政徳 委員長より、月信の取り組み及び地区HPの運用について説明がありました。月信については、巻頭の写真の説明、各クラブの報告事項の記載についてのお願いや原稿依頼事項、HPについては、そのスピードを活かした、即効性のある情報を、各クラブから直接データをいただきアップしていく旨などを報告されました。

最後に、新型コロナウイルスの影響で参加できなかったクラブの皆さまに、9月1日～14日の間、YouTubeにて、このセミナーの様子を配信させていただきました。

多くの皆様のご協力ありがとうございました。



地区インターアクト委員長  
野井隆博

## 第45回インターアクト地区大会報告

この度「つながろう 持続可能な社会の実現をめざして！」を大会テーマとして、RI 第 2690 地区インターアクト地区大会が7月30日(土)・31日(日)出雲市で開催されました。

コロナ禍開催が危ぶまれましたが、小野恵司会長を始めとする出雲ロータリークラブ様の絶対に成功させるという熱意が感じられる大会でした。日頃では中々入ることのできない出雲大社特別参拝・見山謙一郎講師のSDGsのご講演・総勢150名17インターアクトクラブの班別会議など、有意義な2日間大会に参加できたことに感謝いたします。



出雲ロータリークラブ 会長 小野 恵司 挨拶

島根県副知事 松尾 紳次氏 挨拶



出雲市長 飯塚 俊之氏 挨拶

【基調講演】専修大学経営学部 特任教授 見山謙一郎氏  
「高校生でも気軽に取り組めるSDGs」の講演をWEBで

出雲大社、本殿へ向かう様子



出雲大社を正式参拝

6班に分かれての部門別協議



閉会の点鐘

出雲西高等学校の皆様、島根県立大学ローターアクトクラブの皆様

インターアクトクラブでは、12～18歳の中学・高校生が、地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員（通称「インターアクター」）との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っています。ロータリークラブの支援を受けて設立されるインターアクトクラブでは、友だちと一緒に楽しみながらロータリーの「超我的奉仕」を学び、行動力を身につけます。  
(<https://www.rotary.org/ja/get-involved/interact-clubs> より引用)

## 2022-23年度 国際ロータリー第2690地区 第1回 諮問委員会 次第

日付：2022年7月24日(日)  
会場：ザ・シロヤマテラス津山別邸 2F 桜華  
司会：地区副代表幹事 長谷川隆嗣

1. 開会
2. 配付資料の確認
3. 出席者紹介 地区ガバナー 友末 誠夫
4. 地区ガバナーあいさつ 地区ガバナー 友末 誠夫
5. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事推薦について
6. 報告事項
  - ① 地区バストガバナー会費について 【資料1】
  - ② 地区大会について 【資料2】
  - ③ 地区ガバナー公式訪問について 【資料3】
  - ④ クラブ米山記念奨学委員長研修会について 【資料4】
  - ⑤ 2023-24年度ガバナー補佐について 【資料5】
  - ⑥ 第2690地区危機管理委員会規定について 【資料6】
  - ⑦ 2022年ロータリー国際大会について 【資料7】
  - ⑧ 2022-23年度度ならびに2023-24年度主要行事予定について【資料8】
  - ⑨ 2022-23年度国際ロータリー国内委員について【資料9】
  - ⑩ 2022-23年度地区組織図について 【資料10】
  - ⑪ 地区行事予定表について 【資料11】
  - ⑫ 地区公共イメージセミナー次第について 【資料12】
  - ⑬ RIJYEM 社員就任について
  - ⑭ 国際ロータリー理事佐藤芳郎様就任伴う件について
  - ⑮ その他
7. 地区ロータリー財団事務所より
8. 石倉貞昭地区ガバナーエレクト事務所より
9. 次回開催日の確認 2022年10月1日(土) 11:20～12:40  
ザ・シロヤマテラス津山別邸
10. 閉会

## 国際ロータリー第2690地区 第1回 ガバナー補佐会 次第

日時：2022年8月21日(日)  
11:30～13:00  
会場：津山鶴山ホテル 2階 桜の間

1. 開会 司会 2022-23年度地区副代表幹事 日笠 晴夫
2. 配付資料の確認
3. 地区ガバナーあいさつ 地区ガバナー 友末 誠夫
4. 地区ガバナーエレクトあいさつ 地区がけ-エレクト 石倉 貞昭
5. 地区ガバナーノミニ-あいさつ 地区がけ-ミニ 神原 敬
6. 地区研修リーダーあいさつ 地区研修リーダー 松本 祐二
7. 議題 地区代表幹事 河本 秀生
  - ① ガバナー公式訪問日程について
  - ② 地区大会について
  - ③ 2023-24年度ガバナー補佐推薦結果について
  - ④ 第2690地区危機管理委員会規定について
  - ⑤ クラブ米山記念奨学委員長研修会について
  - ⑥ ロータリー国際大会(メルボルン)について
  - ⑦ 国際ロータリー役員および第2690地区委員会組織図について
  - ⑧ 地区行事予定について
  - ⑨ ロータリー研究会について
  - ⑩ IMの準備状況について(お願い)
8. 次回開催日の確認  
第2回ガバナー補佐会  
日時：2022年10月1日(土) 10:00～11:00  
場所：ザ・シロヤマテラス津山別邸
9. 閉会

## 国際ロータリー第2690地区年間行事予定 2022年8月22日現在 左に☆がある行事は石倉地区ガバナーエレクト主催

年	月	日	行事	場所	時間	
2022	9	25(日)	地区大会記念テニス大会	岡山県総合グラウンド内南テニスコート		
		30(金)	地区大会記念ゴルフ大会	備中高原北房カントリークラブ		
	10	1(土)		第2回ガバナー補佐会	ザ・シロヤマテラス津山別邸	10:00-11:00
				第2回諮問委員会		11:20-12:40
				地区大会各種委員会		13:00-13:30
				地区指導者育成セミナー		13:40-15:40
				ガバナー補佐・会長・幹事会		15:50-16:30
				R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会		18:30-20:30
		2(日)	地区大会本会議	津山総合体育館		
		8(土)	鳥根県インターアクト指導者講習会			
		22(土)又は29(土)	鳥取県インターアクト指導者講習会			
		23(日)	高梁ロータリークラブ創立50周年記念式典	高梁国際ホテル	11:00-14:00	
		23(日)	第3・第4・第5グループ「世界ポリオデー」における取組	出雲大社	10:00-12:00	
		5(土)	第2回地区青少年交換委員会 青少年交換派遣学生選考会	岡山国際交流センター		
	12(土)	☆ 第1回次期ガバナー補佐会 ☆ 次期ガバナー補佐会懇親会	ホテル一畑	16:00-17:15 18:00-19:30		
11	19(土)-22(火)	17(木)	オンライン ロータリーの友委員会合同会議・地区代表委員会議 ロータリー財団地域セミナー 第2回ガバナーエレクト研修セミナー (GETS) ガバナーノミニ-研修セミナー (GNTS) メジャードナー午餐会 第2回ガバナー会議 R I 会長・TRF 管理委員長歓迎晩餐会 第51回ロータリー研究会	神戸ポートピアホテル・ポートピアホール(予定)		
		20(日)	児島東RC創立50周年記念式典	せとうち児島ホテル		
		26(土)	第3回地区青少年交換委員会 青少年交換派遣学生オリエンテーション	岡山国際交流センター	13:00-16:00	
		27(日)	岡山県インターアクト指導者講習会	倉敷高等学校		
		12	4(日)	ハイブリッド 全国青少年交換委員長・危機管理委員長合同会議 地区補助金小委員会 ☆ 次期クラブR財団委員長研修会・地区補助金管理セミナー ☆ 第2回次期ガバナー補佐会 第3回諮問委員会 ☆ 石倉貞昭地区ガバナーエレクト国際協議会出席壮行会 ☆ 石倉貞昭地区ガバナーエレクト国際協議会出席壮行会懇親会	東京都内 ホテル一畑	13:00-16:30 11:00-12:20 13:20-15:20 15:30-16:20 16:30-17:20 18:00-18:30 18:30-20:00

2022年 8月

地区だより

新会員紹介



生田正一郎 倉吉RC 中尾 仁徳 鳥取北RC 越村 幸直 米子東RC 田中 久晶 米子南RC 埋見 佳治 米子南RC 高下 正 米子南RC 小田 晃弘 松江南RC 林 浩司 平田RC



糸賀 雅 出雲中央RC 高野 公愛 浜田RC 藤浦 克也 浜田RC 石田 崇 浜田RC 佐々木秀臣 新見RC 岡崎 大 新見RC 池上 友彬 総社RC 大熨 直樹 倉敷RC 池ノ上 誠 倉敷南RC 山本 真嗣 倉敷南RC



野田 尚紀 岡山RC 生駒 智禅 岡山南RC 中瀬 実 岡山南RC 光本 公一 岡山丸の内RC

ロータリー財団への寄付



メジャー  
ドナー  
レベル1

永山 久人  
岡山南RC



ポール・  
ハリス・  
ソサエティ  
入会

榊原 敬  
岡山南RC



ポール・  
ハリス・  
フェロー  
(ポリオプラス  
への寄付)

石井 栄一 5 榊原 敬 6  
岡山南RC 岡山南RC



ポール・  
ハリス・  
フェロー  
(年次基金へ  
の寄付)

小林 健治 16 倉吉RC 児嶋 敏雄 13 米子RC 廣江 智 4 米子RC 秦野 啓一 1 米子東RC 細田 耕治 2 米子東RC 北沢 薫 2 米子東RC 永見 吉平 3 米子東RC 佐田山有史 3 米子東RC 面谷 博紀 4 米子東RC



三宅 八郎 11 児島東RC 長尾 実 1 児島東RC 大江 則男 2 児島東RC 渡辺 祐三 16 倉敷南RC 橋高 正剛 1 岡山北西RC 森本 剛仁 1 岡山北西RC 西岡 貞則 5 岡山北西RC 永山 久人 9 岡山南RC

ロータリー財団への寄付

クラブ年次基金

出雲中央RC ..... 11.00 (新会員寄付)	笠岡東RC ..... 157.89 (ミリオンダラーミール)
倉吉東RC ..... 46.00 (その他1ドル寄付)	児島東RC ..... 11.00 (その他1ドル寄付)
出雲南RC ..... 300.75 (ミリオンダラーミール)	玉島RC ..... 725.00 (その他年次)
笠岡東RC ..... 400.00 (その他10ドル寄付)	岡山北西RC ..... 40.90 (その他1ドル寄付)

クラブポリオプラス

出雲中央RC ..... 288.72ドル
倉敷RC ... 451.13ドル (ミリオンダラー・ミール)
倉吉東RC ... 124.06ドル (ガケ公式訪問での百万ドル・ミール分)
松江南RC ..... 375.94ドル

メモリアル・コントリビューター

松江しんじ湖RC 松本 麻紀  
元会員 松本元次 (続柄：夫) のために

米山記念奨学会への寄付

米山功労者



小林 健治 岩崎 陽一 中本 高夫 松浦 常明 塩野 裕士 高田 慎也 川崎 正志 渡辺 祐三 河田 佳子 畑島 美緒  
倉吉RC 鳥取西RC 米子RC 米子南RC 出雲南RC 笠岡東RC 高梁RC 倉敷南RC 岡山中央RC 岡山南RC



清水 富江 井上 元 榎谷 公登 三宅 雅宣 柴田 収 山下 孝暁 柚木 康司  
岡山南RC 岡山岡南RC 岡山岡南RC 岡山岡南RC 岡山岡南RC 岡山岡南RC 岡山岡南RC

クラブ普通寄付

倉吉東RC ..... 117,500円 (上期分)
岡山中央RC ..... 130,000円
倉敷南RC ..... 6,000円 (上期追加)
鳥取北RC ..... 117,500円
総社吉備路RC ..... 70,000円
児島東RC ..... 27,500円
玉島RC ..... 72,500円
総社RC ..... 40,000円 (上期)
平田RC ..... 85,000円
鳥取RC ..... 171,000円
倉敷中央RC ..... 37,500円
出雲南RC ..... 400,000円
出雲中央RC ..... 115,000円
高梁RC ..... 185,000円 (全期)

クラブ特別寄付

出雲中央RC ..... 3,000円 (新会員寄付)
出雲中央RC ..... 19,200円 (米山ランチ)
出雲南RC ..... 10,000円 (新会員寄付)
出雲南RC ..... 40,000円 (米山ランチ)
笠岡RC ..... 25,344円 (米山ランチ)

謹んで哀悼の意を表し  
ご冥福をお祈りします

訃報



藤縄 匡伸  
鳥取RC

ご逝去日/2022年8月31日  
享年/81歳  
入会日/2014年1月23日



松本 元次  
松江しんじ湖RC

ご逝去日/2022年8月16日  
享年/58歳  
入会日/2012年7月3日



阪本 均  
倉敷水島RC

ご逝去日/2022年8月30日  
享年/74歳  
入会日/1990年2月28日



# 出席報告 (2022年8月)

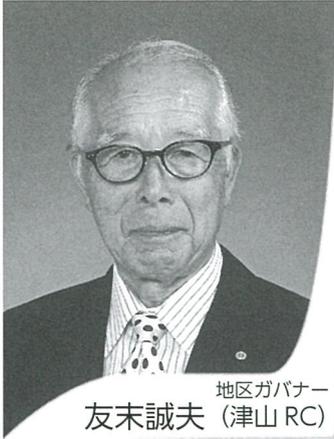
クラブ名	ホームクラブ 出席率 (%)	例会 数	会員数				
			7月1日	8月 末日	内女性 会員	増減	
第一グループ	智 頭	75.00%	4	5	5	0	0
	倉 吉	89.80%	4	40	39	2	▲1
	倉吉中央	67.11%	4	18	19	2	1
	倉吉東	84.21%	3	47	46	5	▲1
	鳥 取	74.78%	2	57	59	3	2
	鳥取中央	0.00%	0	32	32	2	0
	鳥取北	72.78%	4	47	48	6	1
	鳥取西	74.55%	2	56	56	2	0
小計(8)	—	—	302	304	22	2	
第二グループ	境 港	78.38%	1	43	43	1	0
	米 子	0.00%	0	67	67	3	0
	米子中央	66.67%	2	40	40	1	0
	米子東	66.03%	3	105	108	12	3
	米子南	64.88%	3	70	72	5	2
	小計(5)	—	—	325	330	22	5
第三グループ	松 江	91.03%	3	63	64	1	1
	衛星クラブ	80.00%	2	10	10	5	0
	松江東	79.26%	3	46	46	4	0
	松江南	83.24%	3	63	66	7	3
	松江しんじ湖	70.59%	3	44	48	9	4
	隠岐西郷	76.04%	4	21	24	2	3
小計(5)	—	—	247	258	28	11	
第四グループ	平 田	83.51%	3	34	35	2	1
	出 雲	77.78%	3	49	49	1	0
	出雲中央	75.00%	3	46	47	3	1
	出雲南	81.36%	3	78	80	6	2
	大 社	62.70%	3	50	50	4	0
	小計(5)	—	—	257	261	16	4
第五グループ	江 津	68.71%	4	37	39	2	2
	浜 田	76.83%	3	53	55	3	2
	益 田	72.55%	3	18	17	2	▲1
	益田西	70.54%	4	29	28	1	▲1
	大 田	78.67%	3	25	25	3	0
	小計(5)	—	—	162	164	11	2
第六グループ	井 原	74.82%	4	42	41	2	▲1
	笠 岡	86.78%	4	46	48	4	2
	笠岡東	88.89%	3	40	40	0	0
	新 見	75.76%	3	21	23	3	2
	総 社	77.50%	3	16	16	2	0
	総社吉備路	73.39%	4	25	28	2	3
	高 梁	76.53%	3	36	37	1	1
	玉 島	80.43%	4	29	29	4	0
小計(8)	—	—	255	262	18	7	

クラブ名	ホームクラブ 出席率 (%)	例会 数	会員数				
			7月1日	8月 末日	内女性 会員	増減	
第七グループ	児 島	84.21%	2	21	21	0	0
	児島東	87.50%	3	11	11	0	0
	倉 敷	83.82%	1	73	75	1	2
	倉敷中央	80.56%	3	15	15	5	0
	倉敷東	82.95%	3	32	34	4	2
	倉敷南	69.94%	3	58	64	3	6
	倉敷水島	83.33%	2	20	20	0	0
	倉敷瀬戸内	54.67%	2	38	39	1	1
小計(8)	—	—	268	279	14	11	
第八グループ	真 庭	81.11%	3	31	31	1	0
	美 作	78.95%	3	26	25	1	▲1
	津 山	60.35%	3	100	100	5	0
	津山中央	75.00%	2	13	13	3	0
	津山西	73.68%	3	35	35	5	0
	小計(5)	—	—	205	204	15	▲1
第九グループ	備 前	63.89%	1	41	41	5	0
	岡 山	82.34%	4	114	119	5	5
	岡山東	0.00%	0	94	95	0	1
	岡山北西	71.88%	4	40	40	2	0
	岡山後楽園	76.24%	2	51	51	0	0
	小計(5)	—	—	340	346	12	6
第十グループ	岡山旭川	56.94%	4	34	36	1	2
	岡山中央	71.79%	3	26	26	5	0
	岡山北	63.00%	2	50	50	4	0
	岡山南	65.57%	4	160	159	20	▲1
	玉 野	77.78%	5	26	27	0	1
	小計(5)	—	—	296	298	30	2
第十一グループ	岡山備南	81.16%	4	21	21	1	0
	岡山城	80.00%	4	20	21	1	1
	岡山岡南	77.19%	3	19	20	2	1
	岡山丸の内	66.00%	2	48	51	3	3
	岡山西	68.06%	4	68	69	7	1
	岡山西南	0.00%	0	50	52	7	2
小計(6)	—	—	226	234	21	8	

## 地区クラブ内の状況

クラブ数	65 RC
2022年7月1日会員数	2883 名
2022年8月末日会員数	2940 名
内 女性会員数	208 名
純増	57 名
2022年8月出席率(ホームクラブ)	70.69 %





地区ガバナー  
友末誠夫 (津山 RC)

## 米山奨学月間によせて

今年も米山月間（10月）がやって来ました。ロータリークラブ会員の皆様方には、米山奨学制度並びに寄付金へのご理解を示して頂き厚く感謝申し上げます。

日本のロータリークラブの生みの親である米山梅吉翁（1868～1946）の功績を称えて1952年、東京ロータリークラブが米山奨学制度を創設し向学心を抱いて日本で学ぶ留学生に奨学金交付事業を開始、1967年には文部省の許可の下、日本の全てのロータリークラブの共同事業体として“財団法人ロータリー米山記念奨学会”に改組、1980年代には奨学金交付条件が学業成績及び人物評価が重要視され、留学生に

とって奨学金獲得は狭き門に移行しますが、米山奨学金制度事業は日本最大の奨学金制度事業として今日に至っています。1980年～1990年に掛けて地方の大学で学ぶ留学生も増え、次第に学業評価を基に大学の所在地の地区ロータリークラブが奨学金交付の審査を行う仕組みに移行、米山奨学金制度の運営上、留学生が学ぶ大学の担当教授の学業成績評価等を基軸にした推薦状をもって、その大学の所在地の地区ロータリークラブの米山奨学金委員会で公正かつ厳正な審査選考で奨学金交付対象者を決定する今日の様な地区単位毎の審査選考会が中心的権限を担う方式に至っているのです。ロータリークラブから選任された年度単位の米山奨学金委員長と複数の審査員で審査選考会が構成され米山奨学金交付の留学生を決定、それを受諾した米山奨学金財団は奨学金を留学生に交付、併せて世話ロータリークラブと奨学留学生のカウンセラーが決定されると、留学生はカウンセラーの下で米山奨学生としての日常が始まることとなります。奨学留学生の世話ロータリークラブのカウンセラーは、先ず留学生と面談して留学生の素性を把握、次に担当教授から学業成績や授業態度等の評価情報を得ながら、その留学生の在学期間又は卒業に至るまで、米山奨学生としての日常を掌握して地区の米山奨学金委員会で報告説明を行い、委員会はそれを財団運営部に通知するが今日の一連の仕組みです。米山奨学金制度の運営管理部は、全ての奨学生を対象に奨学終了後は、米山学友会に組み入れて米山学友会の仲間意識の連帯性を呼び掛けます。奨学生は日本で習得した知識や技能を活用して母国で活躍、あるいは日本に留まって能力を発揮するなど様々ですが、留学後は彼等の出身国に於いても日本に於いても米山学友会員としての相互親睦が培われる様、留学後の交流が日本と彼等の出身国の友好の架け橋役となるべく、日本とアジアの国々との親交を願っているのが米山奨学金財団の永遠の平和への願いであります。2019年までは、127の国や地域からの奨学留学生の人数が累計21,024人、奨学留学生は多彩で2000年以後は年間800人～900人程度で推移していましたが、中でも中国からの米山奨学留学生の多くが日本の大学の医学課程や工学課程、そして専門学校の各種の専門課程等、多くの分野で学んでいます。他のアジア諸国からの留学生の奨学金獲得が退けられる状況になっていると懸念の声も上がっていると云われます。2000年までの米山奨学生の出身国は、延べ130ヶ国で、その総数は22,000人以上と云われ、奨学金交付の留学生の出身国順位はかつて韓国、台湾、タイ、ベトナム、マレーシア、カンボジア、インドネシア、フィリピンで、これらの国からの日本留学生が全体の80%を占めていましたが、2000年代以降は、中国からの留学生が徐々に増加、2010年以降からは中国勢の奨学金獲得者が全体の過半数を占める状態が続いています。

中国からの留学生の日本語も一様に上手く、学業も圧倒的に優秀なのが起因している様です。米山奨学金制度は、日本全てのロータリークラブの組織的な寄付で成り立っています。ロータリークラブの会員数が日本全体で減少傾向となれば、当然ながら米山奨学財団の原資管理が難しくなります。米山奨学金月間の時期にあたり、特に年数の浅いクラブ会員の皆様には、米山奨学金制度の組織的運営に全国のロータリークラブは、深く関係していることを知って頂きたいのです。

※先般、ロータリー月信 Vol4 に記載された米山奨学月間の記述に間違いがありましたのでお詫び致し、記述を上記の様に訂正致します。